

学年	1 学年	実施期間	5 月 1 8 日 (月) ~ 5 月 2 2 日 (金)
----	------	------	-------------------------------

教科	科目名	単元又は題材	学習の目標	課題等	評価について
国語	国語総合	古文を読む	<p>○文章や作品を読みものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。</p> <p>○語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにする。</p>	<p>○教科書のP230～「児のそら寝」を読んで、共感したり、疑問に思ったり、自分なりに考えたりしたことをA4版レポート用紙1枚にまとめる。</p> <p>○文章を読むのに必要な語句の意味や用法等を確認するため、辞書等の補助教材を活用し、調べたことについてもまとめる。その際、インターネット等を活用することも考えられる。</p> <p>○学習の目標を意識して見通しを立て、学習を進める中で気付いた点や工夫した点等を随時記入する。</p>	<p>○提出された文章により、目標に記された「読むこと」及び「知識・理解」を評価する。また、提出された文章と振り返りの記入により、学習の進め方について試行錯誤した点等を「関心・意欲・態度」として評価する。</p> <p>※ この学習では、「文章にまとめる」書く活動を行うが、「文章をどのように読んだのか」読む力を評価する。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章や作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。(関心・意欲・態度) ・文章や作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。(読む能力) ・語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにしている。(知識・理解)
地理歴史	世界史A	近代初期のヨーロッパ			<p>○課題の内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用して課題に取り組んでいる。(思考・判断・表現)(資料活用)の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切に解答している。(知識・理解)
	日本史A	<p>○近代国家と社会の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国境の画定 ・明治政府の諸改革 	<p>○明治政府による国境画定について、東アジア諸国(地域)との関係を踏まえて理解する。</p> <p>○明治政府の諸改革がどのような目的で行われたかということ及び同時代の社会に与えた影響について理解する。</p> <p>○これらの歴史的事項に関する出来事や人名などの知識を習得する。</p>	<p>○教科書p.16～19を読み、次の問いについて調べたり考えたりしたことをまとめる。</p> <p>①国境画定の過程を具体例をもとにまとめる。</p> <p>②明治政府の諸改革をまとめ、同時代の人びとが抱いたであろう感情を想像する。</p> <p>③上の①②と現代の社会とのつながりを考える。</p> <p>*詳細は、G Suiteの指示を参照する。</p>	<p>○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。(思考・判断・表現)(資料活用)の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)
数学	数学 I	数と式 (因数分解)	<p>基礎的な知識及び技能の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無理数・有理数の違いを理解し、平方根におけるさまざまな演算をすることができる。 	教科書及び、問題集 (STAGE) の与えられた問	<p>○平方根のいろいろな演算について平方根の性質を踏まえて考察することができる。(見方・考え方)</p> <p>○根号を含む式の計算や有理化ができる。(技能)</p>

	数学A	集合と場合の数	基礎的な知識及び技能の習得 ・樹形図を活用して、もれなく、重複なく数え上げることができる。和の法則、積の法則について理解し活用できる。	教科書及び、問題集（STAGE）の与えられた問	○場合の数をもれなく重複なく数え上げる方法として、樹形図を有効であることを認識し、様々な問題に活用しようとしている。（関心・意欲・態度） ○和の法則、積の法則を用いて、効率よく数えることができる。（技能）
理科	物理基礎	運動の表し方(速度)	等速直線運動などについて学び、それらを用いた計算、表現を理解する。	教科書P8～13を参考にしてHPにアップした課題に取り組む。プリントアウトできない場合は、ルーズリーフやノートに解くこと。	○速度に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究する態度を身につけている。（関心・意欲・態度） ○速度について、定性的にとらえ、正しく計算できる。（思考・判断・表現） ○グラフから正しく運動を読み取る。（実験・観察の技能） ○基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。（知識・理解）
	化学基礎	○物質の構成粒子 ・原子の構造	○物質を構成する粒子、その原子の特徴および構造について理解する。	○化学基礎の教科書P26～32を読み、HPに載せた課題プリントに取り組むこと。プリンターのある人は課題を印刷して解答を直接記入してかまわない。ない人はノートまたはレポート用紙(ルーズリーフ)に解答を記入して提出する。 【提出時の注意】 必ず「クラス」「出席番号」「氏名」を表記する。レポート用紙(ルーズリーフ)は左上にホチキス留めをする。これまでの課題も同様の処理をしておくように。	○課題の内容および振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・原子の特徴と構造について、意欲的に探究しようとする姿勢を示している。（関心・意欲・態度） ・原子の構造から、それに関する事象や例について考察できる。（思考・判断・表現） ・原子の構造を電子配置で描くことができる。（技能） ・原子の特徴と構造について、基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。（知識・理解）
保健体育	体育	○体育理論 2単元 運動・スポーツの学び方	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。	保健体育の教科書(現代高校保健体育)P. 136～156の中から興味のあるテーマを決め、レポートを作成する。 テーマの例(教科書の単元から抜粋) スポーツの技術と戦術。技能の上達過程と練習。効果的な動きのメカニズム。技能と体力。体力トレーニング。運動やスポーツでの安全の確保。 レポート作成にあたって 1. A4サイズ。枚数は表紙を入れて2枚以上。表や図の挿入など、書式自由。 2. 表紙をつけること(テーマ、学年、クラス、番号、名前) 3. 手書きであること 4. 考察(感想や考えたこと)を入れること 5. レポートの最後に「参考文献」を入れること	レポートの内容により、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価規準】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明することができる。（思考・判断） ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、書き出すことができる。（知識・理解） 提出：学校再開後・提出 (こちらから指示します)

	保健	1 単元 現代社会と健康 4. 健康に関する環境づくり	健康に関する環境について理解する。 ヘルスプロモーションの考え方を理解する。	①保健体育ノートP.8の問題に取り組む ②NOTE(右側ページ)に学んだことや感想を書く。	提出されたノートの解答や記述等から、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価規準】 ・健康に関する環境づくりについて、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明することができる。(思考・判断) ・健康に関する環境づくりについて、理解したことを記述している。(知識・理解) 【提出】 学校再開後、保健体育ノートを提出。
芸術	音楽 I	○様々な楽器を知ろう。 ○楽典	○オーケストラに使われる楽器とその役割について理解する。 ○楽譜を読む上で必要な知識を習得し、今後の表現活動に生かせるようにする。	①4月13日に提示した楽器に関するレポート課題 ②楽典課題 (PDFを印刷して取り組むこと) ※詳細は、G Suiteの指示を参照する。	○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・楽器や音楽を形作っている要素に関心を持ち、意欲的にレポート作成に取り組んでいる。(関心・意欲・態度) ・音楽表現するために必要な音楽的な知識を持っている。(表現の技能)
	美術 I				
外国語	コミュニケーション 英語 I	MY WAY:Lesson1 A Story about Names	○日本や日本以外の国の人の名前の順序・成り立ちを読み取ることができる。 ○私たちの姓がどのようにしてできたのか、姓がない国や地域があることを理解できる。	①Lesson1 section1～section3 (p. 12, p. 14, p. 16) の新出単語の意味をPDFファイルを参照しながら確認する。 ②Q&A (p. 12, p. 14, p. 16) について考え、ルーズリーフに答えを書く。 ③Lesson1 section1～section3の教科書本文を3回ずつ大きな声で音読する。	○課題の内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・学習の目標・課題について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・それぞれの国や地域で名前の成り立ちや姓の有無が異なることを理解しようとしている。(理解)
	英語表現 I	BIG DIPPER:Lesson4 My Friends	○肯定文・否定文・疑問文の基本的な文法事項を理解したうえで問題演習の復習を行い、簡単な英語を使って身の回りの出来事を英語で表現できるようにする。	○前回の課題：BIG DIPPER p.14の英語例文とその和訳、p.15の解いた問題をPDFファイルを参照しながら、丸付けをする。くわしい解説は参考書ラーナーズ高校英語の第1章「文の種類」と第2章「疑問詞と疑問文」に載っているので参考にするとよい。	○提出された課題の内容を次の評価規準により評価する。 ・参考書(ラーナーズ高校英語)等も参照しながら主体的に理解に努め、課題に丁寧に取り組んでいるか。(関心意欲態度) ・授業開始後の授業や試験で課題への取り組みの成果が見られるか。(表現/知識・理解)
家庭	家庭基礎	○食生活をつくる ・免疫力アップのお弁当づくりをしよう。	・自立にむけて、一人で栄養バランスを考え、安全に調理を行う。 ・今の情勢を考え、免疫力を高める食品選び、献立を考える。	○教科書P113を参考に、免疫力を高める食材を使いお弁当の調理実習を行い、レポートにまとめる。 ※レポートの書き方 ①お弁当の献立 ②それぞれの材料・分量 ③作り方 ④写真添付 ⑤免疫力を高める食材・その効果 ⑥感想	○課題の内容を次の評価基準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・栄養バランス・彩りを考え、お弁当の献立を立て、実習を行えたか。(技能) ・実習の内容を明確にレポートにまとめ、振り返りを行えたか。(関心・意欲・態度) ・免疫力の高い食材選び、また効果などがまとめられているか。(知識・理解)
総合的な探究の時間					